

フィットテスト研究会

第2回 感染&産業部会合同企画WEBセミナー

【オンラインセミナー 第二部】

日時:2020年10月31日(土) 15:20~16:30

今こそ 立ち向かえるチームになろう

~自部署とCOVID-19 対応病棟に勤務してみえてきた課題 あるべき姿とは~

防衛医科大学校病院 看護部

産婦人科病棟 副看護師長

感染管理認定看護師 丸茂 陽子



まりる



防衛医科大学校病院の概要



所沢市イメージマスコット
トコロん © 所沢市

理念：高度で安全な医療を提供しつつ地域医療に
貢献し、優れた自衛隊医官を育成する

- 所在地 埼玉県所沢市
- 届出許可病床数 800床
- 診療科 15診療科
- 外来患者数 1,173.7人/日
- 入院患者数 440.0人/日
- 平均在院日数 12.9日



(令和元年度実績)

- 看護体制 7:1 (令和2年9月1日より)

特定機能病院・災害拠点病院・エイズ拠点病院
埼玉県がん診療指定病院・救命救急センター
第1種感染症指定医療機関 等



埼玉県マスコット
コバトン・さいたまっち

当施設におけるCOVID-19 対応

対応時の取り決めは感染対策室が中心となり
行っている

- COVID-19に関する情報の掲載（医療端末より閲覧できる）
- 面会の制限
- 入院患者の検査実施
→PCR、LAMP、抗原（キット）
- 疑似症患者、陽性患者の受け入れ

COVID-19関連メンタルサポートチーム（専門家）

自部署におけるCOVID-19 対応

産婦人科病棟は、妊産婦、婦人科患者病床のある病棟と陣痛室・分娩室・新生児室、未熟児室のある病棟に分かれている

- COVID-19 流行中は入院時検査（PCR、LAMP、抗原）を実施する
- COVID-19 陽性妊婦の対応については産婦人科・小児科、感染対策室で取り決めた基準をもとに対応する（2020.10.02改訂のもの）
- 母体搬送受け入れは、新型コロナウイルス流行中の母体搬送受け入れ基準（フロー）をもとに対応する（2020.09.25改訂のもの）

COVID-19陽性妊婦への対応

2020.10.2改訂版を参照に一部紹介

- 在胎37週未満の児については小児科病棟では対応できないため、当施設では対応不可
- 母はCOVID-19 対応病棟に入院
- 入院の産前および産後処置もすべてCOVID-19 対応病棟で実施
- 分娩はすべて帝王切開で実施
- 産科医・小児科医・看護師・助産師はfullPPE着用
- 小児科医2名が新生児の蘇生を担当し他の小児科医1名が搬送を行う

他11（計17）事項あり

COVID-19陽性妊婦が入院した際は、産婦人科病棟のスタッフの支援追加が必要？

COVID-19 流行中の母体搬送受け入れ基準

2020.09.25改訂版を参照一部改変して紹介

小児科

新生児室
未熟児室

産科担当医にどのタイプの妊婦か確認

- ・発熱、気道症状、嗅覚・味覚障害、胃腸症状など
- ・胸部CT(妊婦はXR)で肺炎像
- ・濃厚接触者

COVID-19未検査の妊婦

COVID-19陽性妊婦
COVID-19疑い妊婦

発熱など症状2日目

切迫早産・早剥・意識障害
など緊急

症状なし
明らかなCAM

COVID-19陰性妊婦

抗原陽性

抗原陰性

- ・病歴、胸部XRも取れ愛ほど
- 緊急ならばCOVID-19陽性対応

妊婦37週以降は可

周産期・新生児搬送フローチャート通り

児は小児科病棟へ入院
平日日中にLAMP検査提出

妊婦37週未満
新生児搬送
(母体搬送)

児は産婦人科病棟(未熟児室)へ入院
児が37週以降で良好な状態→
小児科病棟へ入院も検討

否定ができるまで
児はCOVID-19陽性扱い

児は産婦人科(未熟児室)へ入院
通常の管理

陰性が確認できるまで
児はCOVID-19陽性扱い

児は産婦人科病棟
(未熟児室)へ入院
通常の管理

距離隔離(1.8m)
保育器収容
* 陽圧換気なし: Standard Precautions
* 陽圧換気あり: Full PPE

母の検査結果判明まで
妊娠期間延長が望める
入院受け入れは問題なし

* 陽圧換気:
バギング、マスクCPAP、
nCPAP、
挿管・人工呼吸器管理

分娩後、母体の病歴、画像で否定できるならば通常管理へ
できなければ母体のLAMPまたは抗原検査を行う

個室管理
保育器収容

- * 陽圧換気なし: Standard Precautions
- * 陽圧換気あり: Full PPE

COVID-19 陽性患者の受け入れについて

- 県内の中等症～重症のCOVID-19 陽性患者を受け入れる役割を担っている
- 2月よりCOVID-19 陽性患者を受け入れている
- COVID-19対応(当該科?チーム制)の医師が担当する
- 受け入れ患者はCOVID-19 対応病棟に入院する
- フェーズに準じた対応をする

COVID-19 対応病棟の看護師について

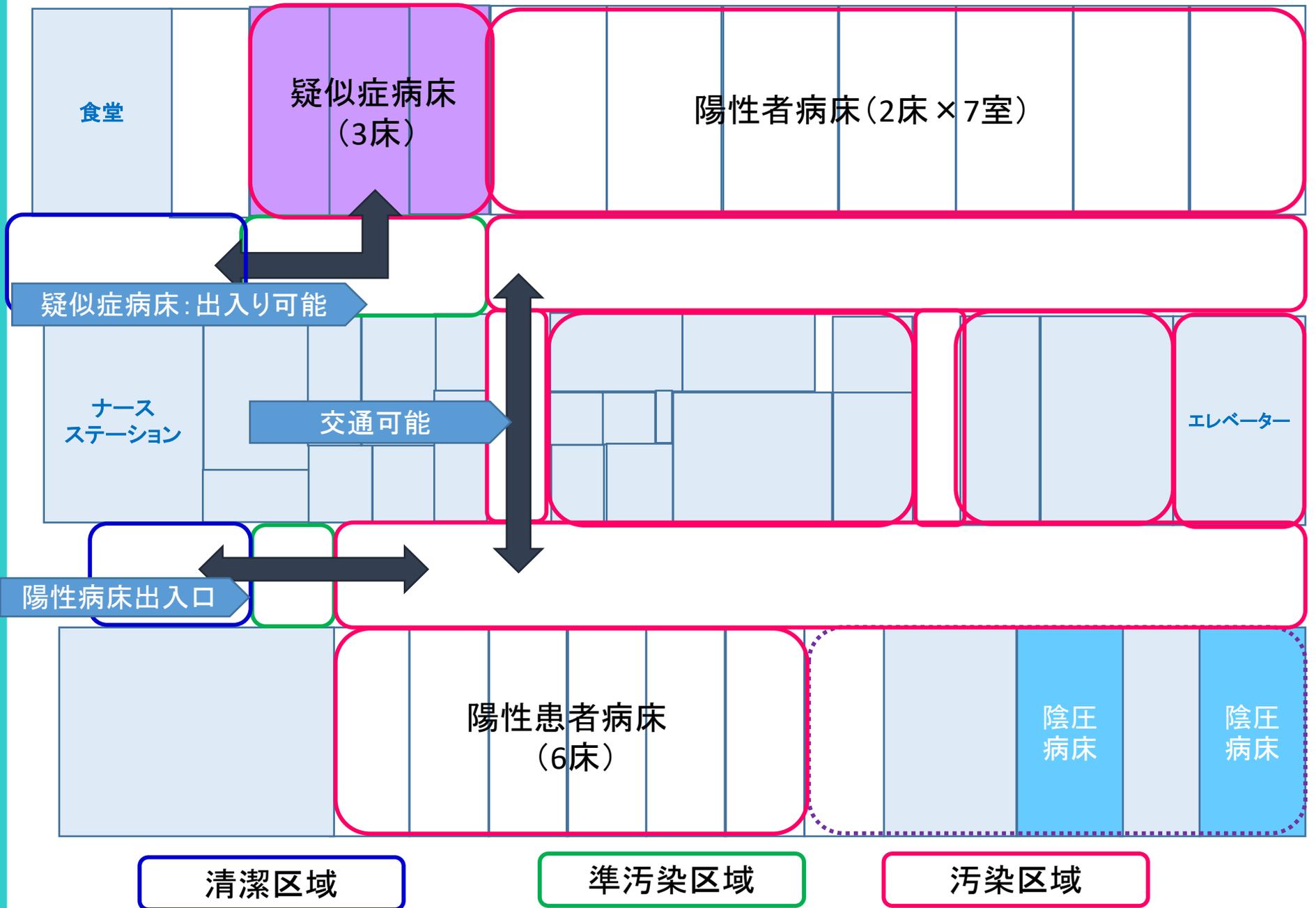
- COVID-19 対応病棟配属の看護師
- 他部署より対応要員として参集された看護師
 - * 一類感染症対応要員の看護師
 - * 参集メンバーの経験年数・経験病棟は様々
 - * 参集(支援)期間もばらつきがある
(1~2か月のローテーション)
 - * 20人前後参集されている
 - * 患者が入床していない場合は自部署勤務または他部署の支援要員となる

慣れない環境、メンバーのなか過度の緊張・ストレスを抱えながら勤務している

COVID-19 対応病棟について

- 受け入れ当初は感染症病床2床(陰圧室)を使用
- 増床に伴い病棟をゾーニング
- COVID-19 対応病棟配属の感染管理認定看護師が中心となり下記を実施
 - * オリエンテーション(1人づつ実施・4~5人?/月)
 - * 教育動画作成(手順・緊急時対応など多数)
 - * シミュレーション教育の実施(受け入れ・転院・CT等)
 - * 勉強会の企画・運営
 - * 対応病棟のマニュアルの整備・改訂
 - * 参集した看護師への指導と技術チェック(チェックリストの作成・使用)
 - * 病棟整備(レイアウト含む)
 - * 対応病棟におけるせん妄アセスメントフローチャートの作成・使用
 - * カンファレンスの実施

* COVID-19 対応病棟のゾーニング



疑似症病床前(個人防護具設置)



* 食堂に個人防護具・手指消毒剤を装着順に設置

疑似症病床前（個人防護具設置）



* 個人防護具装着順に手指衛生のタイミングも加え慣れないスタッフでも適切に装着できるよう提示

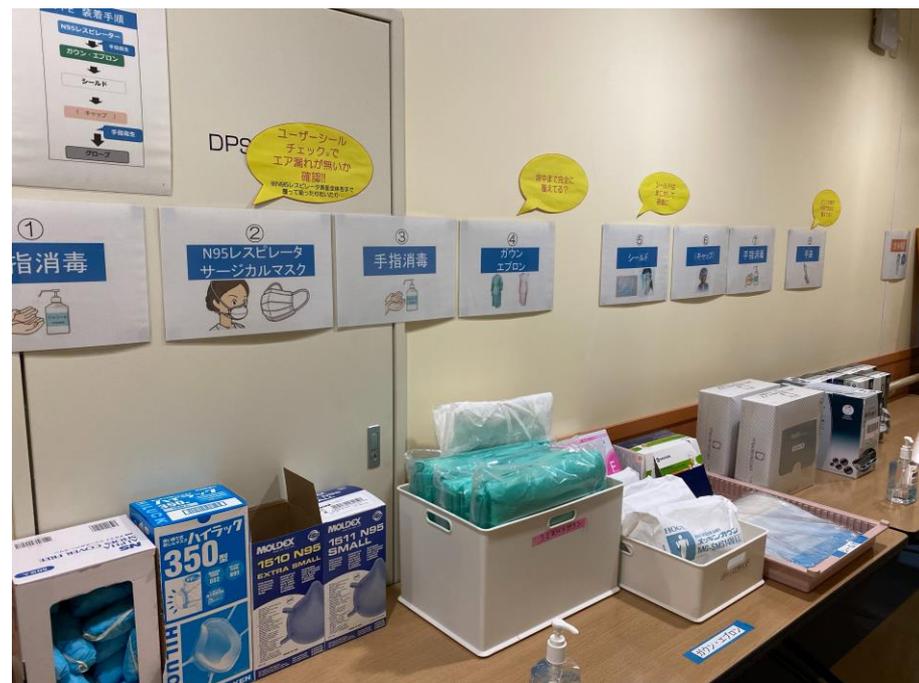


* パーティション・テープを用いて区域を提示

陽性病床出入口前



* 陽性病床出入口前の廊下に
個人防護具・手指消毒剤を
装着順に設置



* 個人防護具装着順に手指衛生の
タイミングも加え慣れないスタッフでも適切に
装着できるよう提示

陽性患者出入口と陽性者病床



* 陽性患者病床(個室側)

COVID-19 対応病棟での個人防護具の使用例

ADL	症状	ケア	N95	手袋	エプロン	ガウン	シールド	キャップ
自立	なし	バイタルサインズ	○	○	○			
		血糖測定	○	○	○			
	あり	バイタルサインズ	○	○		○	△	△
		血糖測定	○	○		○	△	△
全介助	なし	バイタルサインズ	○	○	○			
		血糖測定	○	○	○			
		保清	○	○		○	△	
		食事	○	○	△	△	△	
	あり	バイタルサインズ	○	○	△	△	△	△
		血糖測定	○	○	△	△	△	△
		保清	○	○		○	○	○
		食事	○	○		○	○	○

* 個人防護具設置場所に掲示されているものを参照し作成

自部署とCOVID-19対応病棟の勤務

- 他部署の看護師と勤務を共にすることにより
部署間の情報共有や顔見知りが増える
- 双方で勤務で様々なことを経験することができる
- 対象者、ケア、緊急時の対応等の違い等に
順応することが必要である
- 対応病棟と自部署での勤務、他部署への支援と
勤務場所に応じた切り替えが必要である
- 勤務形態や環境の変化により抱えるストレスが
ある

自部署とCOVID-19 対応病棟に勤務して みえてきた課題 あるべき姿とは

限られた環境でも職員が健やかに勤務できるよう
様々な整備が必要である

手順・マニュアルの追加・修正

勤務体制の調整

ストレスを抱えるスタッフのサポート

COVID-19の対応に皆で取り組んでいこうという姿勢

